**中学校保健体育科　第２学年**

**保健分野(3)「傷害の防止」 ワークシート（案）**

＜実習＞きずの手当

　　　組　　　番　　名前（　　　　　　　　　　　　　）

１．学習の目標

　　〇きずの手当の仕方を身に付けよう

　＜協働＞　グループで確認し合ったり、教え合ったりしながら実習しましょう。

２．課題をつかむ

　　(1)次のような場面に居合わせたとき、あなたにはどんなことができるでしょうか

①友達が出血したとき

②友達がねんざや骨折をしたとき

(2)友達がけがをしたとき、その場に居合わせた人は何をすべきか。

　　＜ポイント＞

　　傷害が発生した際に，迅速かつ適切な応急手当は傷害の悪化を防止できる。

　　⇒正しく、正確に行うこと

３．役割を決めてやってみよう（２～３人組で互いに行う）。

　　やってもらったら、感想を言おう。

(1)友達の左手から出血している。止血しよう。（赤字は伏せておく）

直接圧迫止血法

　　やり方：清潔で厚みがあり、出血している部分を十分に覆うことができるガーゼや布などを、傷口に直接当てて強く抑えて止血する。

使用する物：ビニール袋、ガーゼ（ハンカチでも可）

　(2)止血できた友達に包帯を巻こう。

　　　止血後は、ガーゼや布の上から

包帯を少しきつめに巻く。

　　　一度巻いた包帯は緩めない。

包帯に血液がにじんできたら、

巻いた包帯の上からもう一度包帯を巻く。

　　使用する物：包帯

　(3)捻挫した友達の右足首を固定しよう。

　　使用する物：三角巾

(4)右手を骨折した友達の右腕を固定しよう。

　　やり方：患部の上と下の間接を固定する。

　　　　　　巻いた部分が締まりすぎていないか、30分ごとに調べ、

　　　　　　締まりすぎていたら緩める。

使用する物：三角巾（レジ袋）、雑誌（新聞紙）

４．振り返り

　　取り組みを振り返り、自己評価しよう

〇自主的に取り組むことができたか　 A　B　C　D

　　〇友達と教え合って取り組めたか　　　　　A　B　C　D

　　〇やってみての感想を書こう